

令和3年度 天童市立高揃小学校だより

天童市立高揃小学校
〒994-0068 天童市大字高揃北239番地
TEL023-655-2051 Fax023-655-7650

令和3年度 第10号 令和3年10月20日

校長 樋口 良彦

〒994-0068 天童市大字高揃北239番地
TEL023-655-2051 Fax023-655-7650

ましみずの里



学校教育目標 「自ら学び、ともに伸びる 一夢に向かう くらしづくりー」

めざす子供像 自ら考え表現し合う子、自ら開きわかり合う子、自ら挑み高め合う子

特集 令和3年度「全国学力・学習状況調査」の結果と今後の指導について

「全国学力・学習状況調査」は、児童生徒の学力や学習状況を全国的に調査し、各学校における教育指導の充実や学習状況の改善を図ることなどを目的に実施されています。昨年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により中止となりましたが、今年は例年より一か月遅れの5月27日（木）に実施されました。調査対象の6年生は、「教科に関する調査（国語と算数の調査問題）」に臨むとともに、学校生活や地域活動等についての「質問紙調査」に回答しました。

この度、結果が学校に届きましたので、皆様に今後の指導対応を含めてご報告いたします。なお、児童個人の調査結果も、併せて本日お届けいたします。

I 「教科に関する調査」について

1 問題の内容

学習指導要領に示されている〔知識及び技能〕、〔思考力・判断力・表現力等〕の内容のうち、小学5年生までの履修内容。

2 本校の結果（全国比）と問題別の状況（○全国比約10%以上高い ●全国比約10%以上低い）

□ 国語：【全国平均正答率 64.7】を上回る

- 目的や意図に応じて、理由を明確にして自分の考えがわかるように書き出し方を工夫する。
- 文の中における主語と述語の関係を捉える。
- 文の中における修飾と被修飾の関係を捉える。
- 学年別漢字配当表に示される漢字を文の中で正しく使う。
- 目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考える。

□ 算数：【全国平均正答率 70.2】を上回る

- データを二次元の表に分類整理すること。
- 小数を用いた倍についての説明を解釈し、他の数値の場合の適用理由を記述できる。
- 複数の図形の面積について、量の保存性や加法性をもとに捉え、比べることができる。
- 商が1より小さくなる場合の数量関係を捉えて除法の式に表し、計算できる。
- 速さを求める除法の式と商の意味を理解している。

3 分析と今後の対応

- (1) 領域ごとの分析において極端な落ち込みはありませんでした。また、多くの設問で無答率が0（ゼロ）となるなど、児童が最後まで粘り強く取り組んだことが伺えます。
- (2) 6年生への指導では、正答率が十分でなかった設問や関係する指導内容について授業や家庭学習で取り上げ、理解と定着を再確認します。
- (3) ここで明らかになった課題は学校全体で取り組むべき実践課題ととらえ、各学年の指導においてめざす資質・能力の獲得につながる授業が実現するよう、全ての教職員が意識し重点的に取り組みます。

Ⅱ 「質問紙調査」について

1 調査の内容

学習意欲・方法・環境、生活の諸側面（挑戦心・達成感・規範意識・自己有用感等、ICTを活用した学習状況、授業改善に関する取組状況、学習への関心や授業の理解度等）について。

2 本校の結果 「している・そうだ、どちらかといえばしている・そうだ」と回答した児童の割合の全国比 （◎全国比10%以上高い ○全国比5%以上高い △全国比5%以上低い ▲全国比10%以上低い）

□ 授業への取組、学習の理解度や興味関心 等

- ◎国語の勉強が好きである。国語の授業内容がよくわかる。
- ◎国語の授業では、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりしている。
- ◎国語の授業では、目的に応じて文章を読み感想を持ったり自分の考えを広げたりしている。
- ◎5年生までの授業で、コンピュータなどのICT機器を週1回以上使用した。
- ◎総合的な学習の時間では、課題についての情報を集め、整理・発表する活動としている。
- 国語の授業では、目的に応じ、自分の考えと理由をとの関係がわかる表現を工夫している。
- 算数の勉強が好きである。
- 算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える。
- 算数の授業で公式や決まりを習うとき、そのわけを理解するようにしている。
- 5年生までの授業で、考えをまとめたり新しいものを作り出したりする活動を行った。
- 5年生までの授業は、自分に合った教え方、教材、学習時間となっていた。
- 友達と話し合う活動では、自分の考えを深めたり広げたりできている。
- 学習した内容について、わかった点やわからなかった点を見直し次の学習につなげている。
- 学級では、生活をよくするために話し合い、解決方法を決めている。
- △学校で、ICT機器を友達との意見交換や調べ学習で週1回以上使用している。
- △学級活動の話し合いを生かして、自分で努力すべきことを決めて取り組んでいる。
- ▲5年生までの話し合い活動では、相手の考えを受け止めて自分の考えを伝えている。
- ▲英語の勉強が好きである。これまで、英語の授業以外で英語を使う機会があった。
- ▲5年までの英語の授業では、英語で自分の考えや気持ちを伝えることができていた。

□ 基本的な生活習慣、挑戦心・達成感・規範意識、地域や社会に関わる活動状況 等

- ◎学校に行くのは楽しい。
- ◎学校の授業以外で、平日1時間以上勉強している。
- ◎新聞を読んでいる。
- ◎今住んでいる地域の行事に参加している。
- 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。
- 学校の授業以外で、平日1時間以上読書している。
- △毎日、同じくらいの時間に起きている。
- ▲将来の夢や目標を持っている。
- ▲新型コロナウイルス感染症で学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていた。

3 分析と今後の対応

- (1) 全国平均よりも、「学校が楽しい、国語・算数の勉強が好き、友達と交流し学びを深めたり広げたりすることが大事と考える、地域の行事に参加する児童」が多いことを喜んでいきます。多様な他者と協働しながら、『自ら学び ともに伸びる』児童の育成に、保護者の皆様、地域の皆様のお力をお借りしながら引き続き取り組んで参ります。
- (2) 児童が、今ある自分のよさや特徴を見つめ、将来の夢や生き方・あり方を考えることができるよう、学級活動や朝の会・終わりの会等で工夫して指導します。
- (3) 今月中旬からALT（外国語指導助手）の勤務が週2回に拡大しています。授業前に担任とALTが指導の展開について綿密に打合せながら、児童が英語にたっぷり触れ、英語を学ぶ楽しさが実感できる授業づくりに努めます。